

イノベーションへの影響メカニズム【研究開発成果等が不確定な段階での研究開発】

資料3

番号	枝番	影響メカニズム	参照元
1		特定の技術プログラムに対する正しい解答が不明確な場合、並行する研究経路がイノベーションを加速する可能性があるところ、合併により、並行する研究経路が廃止され、コスト削減のために重複する研究開発が排除されれば、研究開発の多様性が低下し、イノベーションに悪影響を与える可能性がある。	Dow/Dupont EC (2017) Annex4
2		研究開発に従事する能力とインセンティブを有する独立した企業数を一定数以下に減少させる合併は、独立した研究開発単位数やスピルオーバーの低下を通じて、市場におけるイノベーション競争を減少させる。	—
	①	合併は、独立したイノベーターが失われたり、潜在的なイノベーター数が減少したりするため、市場全体のイノベーションが減少する可能性がある。	Dow/Dupont EC (2017) Annex4
	②	当事者以外に、当事会社の製品と代替する製品の研究開発に着手する同等の能力とインセンティブを有する独立した競争業者や研究経路が一定数以上存在する場合、通常、関連する研究開発市場の競争に影響を及ぼす可能性は低い。	米国知財 GL Baker (2019) Gilbert (2020)
	③	さらに、研究開発に従事する企業数を一定に保つことで、実質的な知識のスピルオーバーが将来の製品競争の可能性を高める。	Baker (2019)